

令和 8 年度森林・林業白書の作成方針（案）

1. 白書の構成

（１）「令和 8 年度森林及び林業の動向」

（ア）特集・トピックス

特集として、特定のテーマについて詳細な分析等を行う。

トピックスとして、令和 8 年度における森林・林業に関する特徴的な動きを紹介・解説する。

（イ）通常章

第 I 章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村（中山間地域）」、「木材需給・利用と木材産業」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」の章立てとし、森林・林業全般について現状・課題の分析等を行う。

（２）「令和 8 年度に講じた森林及び林業施策」、「令和 9 年度に講じようとする森林及び林業施策」

現行の「森林・林業基本計画」（令和 8 年 6 月閣議決定）を踏まえた項目立てとする。

令和8年度森林・林業白書の作成方針（案）

2. 特集のテーマ

特集のテーマを「森林・林業を支える技術の歩みと展望（仮）」とする。

我が国の森林資源が充実し、森林資源の循環利用が求められている。一方で、森林は広範囲にわたりアクセスが困難である上、林業では、傾斜地等の厳しい労働環境で丸太という重量物を扱うことから、森林資源・境界情報の効率的な把握や、作業の効率化、安全性の向上が課題となっている。今後、労働人口全体が減少する中、こうした課題を解決していくには、更なる技術開発と現場への実装が必要となる。

令和8年6月に策定された森林・林業基本計画においては、スマート林業技術の開発・実装や林業DXの推進に取り組むこととされ、令和8年7月の日本成長戦略においては、AI等の先端技術を花開かせる「成長投資」を戦略的に行うことが明記された。

これらを踏まえ、令和8年度の特集では、これまで開発・実装を進めてきた技術の内容や、その成果について記述した上で、AI等の先端技術の導入など、森林・林業の未来を支える技術の展望について記述する。

令和 8 年度森林・林業白書の作成方針（案）

3. 今後の予定

今回を含め計 3 回の施策部会で検討を重ねていただき、林政審議会での答申を経て、来年 5～6 月の閣議決定・公表を目指す。